

# 未婚男女の 婚活・結婚意識調査

(2021年7月)

## ■ 調査目的

厚生労働省が発表した令和2年の人口動態統計月報年計（概数）では、婚姻件数は52万5490組と前年に比べて7万3517組減少し、戦後最小の数値であることが分かりました。また、出生数についても過去最小の84万832人と5年連続で過去最小を更新しています<sup>1</sup>。令和元年には、改元に伴う「令和婚」の増加もあり7年ぶりに婚姻数が増加しましたが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、結婚や出産を控える人が増加し、婚姻数、出生数が減少している可能性があります。令和3年5月分の人口動態統計速報値も長引くコロナ禍の影響か、婚姻数、出生数ともに対前年比で減少傾向です<sup>2</sup>。

コロナ禍で大きく変化した生活様式により、未婚男女の婚活状況や結婚に対する意識にも変化があったのか。リンクバルは、現在の未婚男女の意識調査を行い、実態を明らかにすることにより、ニューノーマル時代の新たな婚活をいち早く支援し、日本の未婚化・晩婚化といった大きな社会問題の解決に寄与してまいります。

## ■ 調査概要

- ・ 調査タイトル : 未婚男女の婚活・結婚意識調査（2021年7月）
- ・ 対象 : 18歳以上の未婚男女1,482名（男性886名、女性596名）
- ・ 調査期間 : 2021年7月21日（水）～26日（月）
- ・ 調査方法 : CoupLink会員へのwebアンケート

※本調査内容を転載・ご利用の際は「未婚男女の婚活・結婚意識調査（2021年7月） 株式会社リンクバル調べ」とご記載ください

## ■ 調査対象

性別／年齢	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	50歳以上	全体
男性	2	67	250	228	167	84	53	22	9	4	886
女性	0	66	207	144	101	36	26	9	5	2	596
全体	2	133	457	372	268	120	79	31	14	6	1,482

<sup>1</sup>厚生労働省「人口動態統計月報年計（概数）の概況」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai20/dl/kekka.pdf>

<sup>2</sup>厚生労働省「人口動態統計速報（令和3年5月分）」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/s2021/dl/202105.pdf>

## ■ 調査内容

### 1. 出会い・結婚・離婚について

- 1-1. 婚活サービス以外での出会い有無
- 1-2. 婚活サービスを通じての出会い状況
- 1-3. コロナ禍での結婚願望の変化
- 1-4. 事実婚に対する意識
- 1-5. 夫婦別姓に対する意識
- 1-6. 離婚に対する意識

### 2. 婚活サービス利用について

- 2-1. 婚活サービスの利用開始年齢
- 2-2. 婚活サービスを知ったきっかけ
- 2-3. 婚活サービスの利用開示
- 2-4. 利用経験のある婚活サービスのジャンル
- 2-5. 現在利用している婚活サービスのジャンル
- 2-6. 今後利用したい婚活サービスのジャンル
- 2-7. 婚活サービスに毎月かけられる費用
- 2-8. 婚活サービスでのアプローチ可否
- 2-9. 婚活サービスでのコミュニケーション

### 3. 相手の希望条件について

- 3-1. 相手の重視するポイント
- 3-2. 相手の理想の年代
- 3-3. 相手に求める性格
- 3-4. 相手に求める最低年収
- 3-5. 相手に求める職業ジャンル
- 3-6. 相手の喫煙に対する意識

### 4. 交際・結婚後の希望について

- 4-1. 交際までの希望デート回数
- 4-2. 結婚までの希望交際期間
- 4-3. 希望結婚時期
- 4-4. 家事・育児の参加希望
- 4-5. 授かり婚に対する意識
- 4-6. 子供の希望人数
- 4-7. 結婚後の働き方

## ■ 調査のポイント

### 1. 出会い・結婚・離婚について

- 1-1. 未婚男女の約8割が「婚活サービス以外での出会いがない」状況
- 1-2. 10人に1人の未婚男女が過去に婚活サービスを通じて「付き合ったことがある」
- 1-3. 未婚男女の5人に1人がコロナ禍をきっかけに結婚願望に変化あり
- 1-4. 未婚男性の2人に1人が事実婚に肯定的
- 1-5. 未婚女性のおよそ2人に1人が夫婦別姓に肯定的
- 1-6. 未婚男女の6割以上が「離婚したくないが場合によっては仕方ない」と考えている

### 2. 婚活サービス利用について

- 2-1. 未婚女性の6割以上が婚活サービスの利用開始年齢「20代以内」
- 2-2. 未婚男女の4割弱が婚活サービスを知ったきっかけ「SNS」
- 2-3. 未婚男女ともに婚活サービスの利用について「友人に話している」が1位
- 2-4. これまで利用してきた婚活サービス「マッチングアプリ」が約8割で1位
- 2-5. 現在利用している婚活サービス「マッチングアプリ」が8割以上で1位
- 2-6. 未婚女性の7割が今後利用したい婚活サービス「対面型婚活イベント」
- 2-7. 婚活サービスに毎月かけられる費用「5,000円未満」男性半数以上、女性8割以上
- 2-8. 婚活サービス利用中に「自分からアプローチできる」男性9割以上、女性7割以上
- 2-9. 未婚女性の7割弱が「婚活サービスでのコミュニケーションが面倒」と感じている

### 3. 相手の希望条件について

- 3-1. 相手の重視するポイント「年齢」が8割以上で1位
- 3-2. 相手の理想の年代、男性「同年代以下」、女性「同年代以上」が6割以上
- 3-3. 相手に求める性格、男性「明るい」、女性「誠実」が1位
- 3-4. 相手に求める最低年収、男性「200万」「300万円」、女性「400万円」が1位
- 3-5. 相手に求める職業、男性「こだわらない」、女性「会社員」「こだわらない」が1位
- 3-6. 未婚女性の8割が相手の喫煙「気になる」と感じている

### 1. 交際・結婚後の希望について

- 4-1. 婚活サービスで知り合った相手と付き合うまでの希望デート回数「3回」が4割以上
- 4-2. 婚活サービスで付き合った相手と結婚するまでの理想の交際期間「1年以内」が4割以上
- 4-3. 未婚男女の約7割が「3年以内」の結婚を望んでいる
- 4-4. 相手に「家事・育児に参加してほしい」が約9割
- 4-5. 未婚男性の約7割が授かり婚に肯定的
- 4-6. 将来の子供「2人欲しい」が男性6割、女性半数以上
- 4-7. 結婚後の理想の働き方、およそ2人に1人が「共働き」を希望

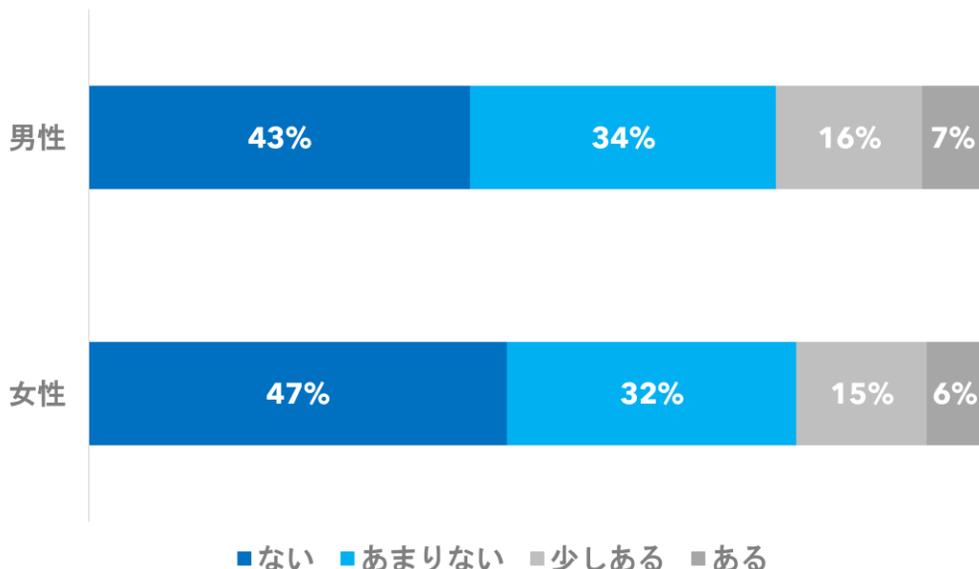
## ■ 調査の詳細

### 1. 出会い・結婚・離婚について

#### 1-1. 未婚男女の約8割が「婚活サービス以外での出会いがない」状況

未婚男女の現在の出会いの状況を調査したところ、男性77%、女性79%が婚活サービス以外での出会いが「ない」「あまりない」と回答。職場で出会える環境でないといった回答に加え、コロナ禍の影響により外出が減ったり、人との交流が減ったりしたといった回答もあげられています。

#### 婚活サービス以外での出会いはある？



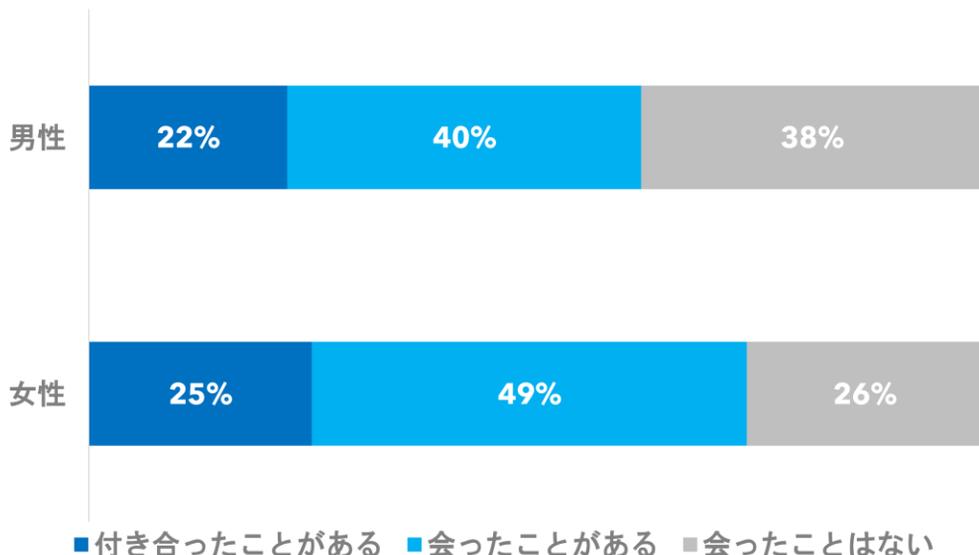
n=1,482



#### 1-2. 10人に1人の未婚男女が過去に婚活サービスを通じて「付き合ったことがある」

婚活サービスを通じて出会った相手と実際に会ったことがあるかを調査したところ、男性22%、女性25%が「付き合ったことがある」と回答。「会ったことがある」に関しては、男性40%、女性49%で、「付き合ったことがある」も含めると男性は6割以上、女性は7割以上が婚活サービスを通じて出会えていることが分かりました。

#### 婚活サービスを通じて相手と会ったことはある？



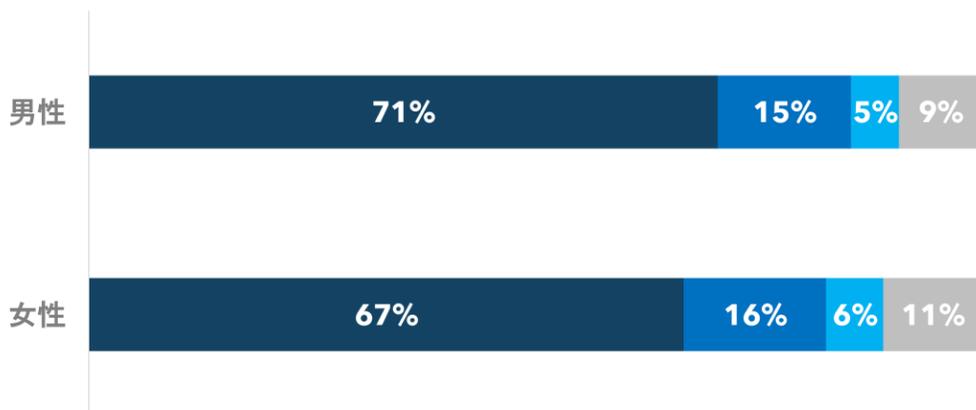
n=1,482



### 1-3. 未婚男女の5人に1人がコロナ禍をきっかけに結婚願望に変化あり

未婚男女のおよそ5人に1人がコロナ禍をきっかけに結婚願望に「変化があった」と回答しており、コロナ禍をきっかけに「結婚願望が出た」が男性15%、女性16%、「結婚願望がなくなった」が男性5%、女性6%という結果となりました。

## コロナ禍をきっかけに結婚願望に変化はあった？



- もともと結婚願望がある
- コロナ禍を機に結婚願望が出た
- コロナ禍を機に結婚願望がなくなった
- もともと結婚願望がない

n=1,482



#### ▼結婚願望が出たと回答した方の声

- ・自粛期間中、いろいろなSNSで新婚や出産後の友人の投稿がとても溢れていたため。(30代女性)
- ・将来相手がいてくれた方が楽しいし、死ぬ時も一人じゃないことで安心できるから。(30代女性)
- ・何が起きるかわからない不安感からパートナーがいれば少しは安心できると感じた。(30代男性)
- ・一緒に頑張れるパートナーがいることが、とても素晴らしいと思えるようになった。(40代男性)

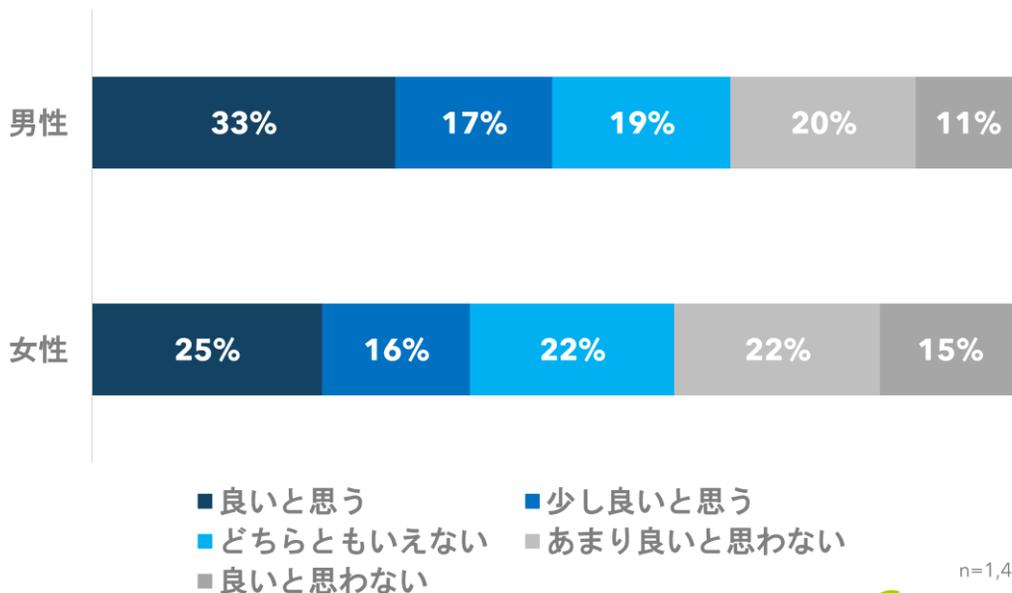
#### ▼結婚願望がなくなったと回答した方の声

- ・離婚が増えているイメージがあるから。(20代女性)
- ・生活ができるかどうか分からないから。(40代女性)
- ・マッチングしても会えないじゃ意味がないと感じるから。(30代男性)
- ・人と会わない事に慣れてしまったから。(40代男性)

#### 1-4. 未婚男性の2人に1人が事実婚に肯定的

婚姻届を提出せずに夫婦関係を築く事実婚に対する意識調査をしたところ、男性50%、女性41%が「良いと思う」「少し良いと思う」と事実婚に対して肯定的であり、男性が女性を9ポイント上回る結果となりました。

### 事実婚についてどう思う？



n=1,482  
 LINKBAL

#### ▼ 事実婚に対して良いと思うと回答した方の声

- ・いろんな家庭があるから自由で良いと思う。(20代女性)
- ・形式にこだわるだけではないから。ただ生涯伴侶として過ごすのであれば、相続面等もあるので話し合いは必要だとは思う。(30代女性)
- ・法律上の契約を行なったかどうかの違いでしかないので気にしません。(30代男性)
- ・子供がいないのであれば、結婚の形式を取る必要はないと思うから。(40代男性)

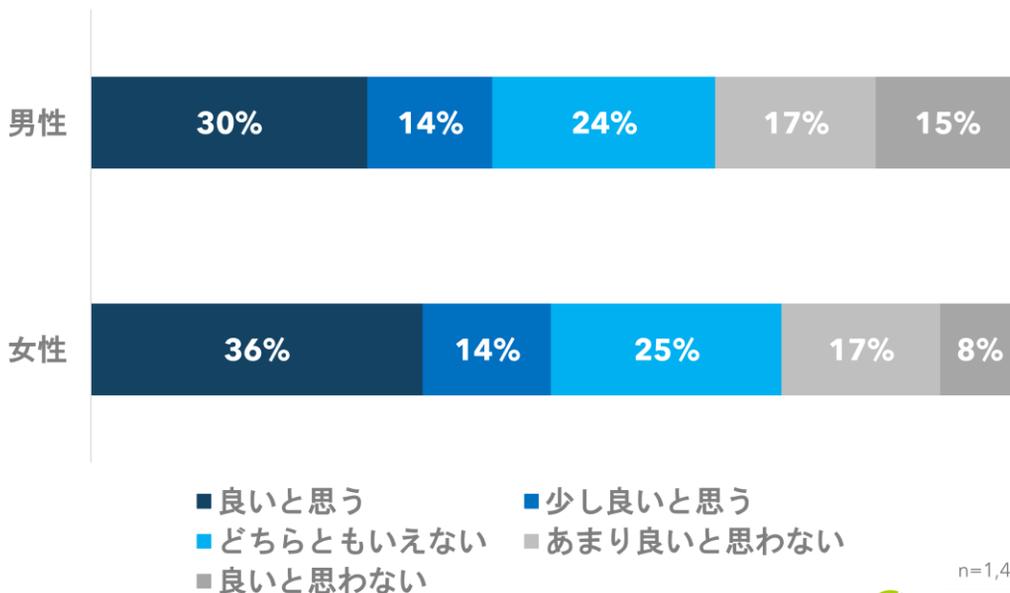
#### ▼ 事実婚に対して良いと思わないと回答した方の声

- ・子供のこともあるし、事故や病気になった時はやはり家族でないと手術の同意等もできないので、そこはきちんとしたい。(30代女性)
- ・相手は自分の生涯のパートナーであり、自分もまた相手にとって生涯のパートナーである…という法的な根拠がないとても不安定な状態だと感じるから。(30代女性)
- ・今の日本は法律婚が前提なので生きにくいから。(20代男性)
- ・婚姻契約を結ぶことに誠実さがあると感じるから。(30代男性)

## 1-5. 未婚女性のおよそ2人に1人が夫婦別姓に肯定的

夫婦が結婚後も法的に改姓せず、婚前の姓を名乗る夫婦別姓に対する意識調査をしたところ、男性44%、女性50%が「良いと思う」「少し良いと思う」と夫婦別姓に肯定的であり、女性が男性を6ポイント上回る結果となりました。

### 夫婦別姓についてどう思う？



n=1,482  
 LINKBAL

#### ▼夫婦別姓に対して良いと思うと回答した方の声

- ・改姓後の諸々の手続きが面倒であるため。(30代女性)
- ・夫の姓を名乗るから、嫁は嫁ぎ先のものなんて考えが生まれる。姓を変えると仕事でも差し障りがある。夫婦が同姓であることで、主に不利益を被るのは女性の方。男女平等を目指すなら、別姓も選べるようにするべきだと思う。(30代女性)
- ・長年の名前を変えるのは違和感が強そう。特に何の支障もないなら別姓でよいのではないかと思う。(20代男性)
- ・姓の変更が面倒だと聞かため。また珍しい苗字は残したいため。(30代男性)

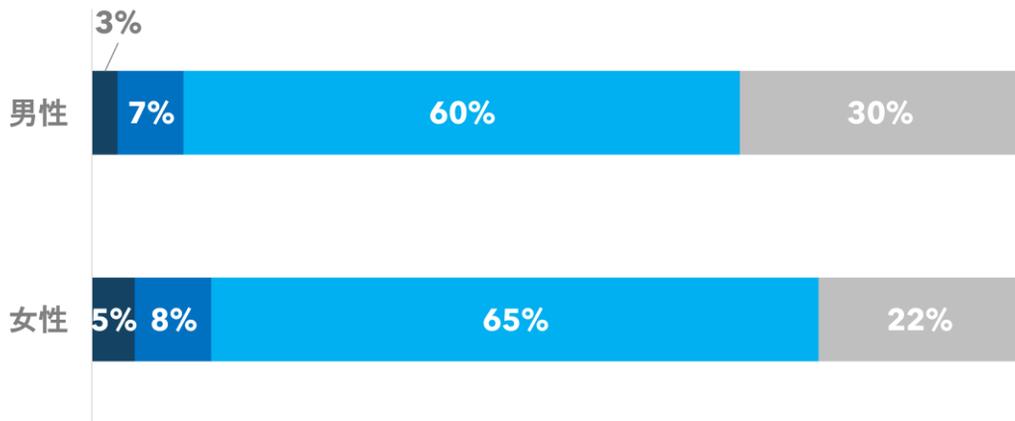
#### ▼夫婦別姓に対して良いと思わないと回答した方の声

- ・子供がいなければ良いかもしれないが、子供が産まれたらどちらの苗字を名乗るのか、もし自分が子供と苗字が違くと何となく疎外感が生まれると思うから。(30代女性)
- ・家と家との結びつき、一つの家族になる為にも必要だと思う。また、もし子供ができたときやお墓に入るときにも、いろいろ問題が発生しそうだと思うから。(40代女性)
- ・日本の文化だから。同じ姓を名乗ることで家族として一つなるという、意思表示の一つとして大事だと思う。(20代男性)
- ・子供の姓がどちらであるかなど、家庭的な部分や法律上の判断が難しくなるから。(30代男性)

## 1-6. 未婚男女の6割以上が「離婚したくないが場合によっては仕方ない」と考えている

結婚後の離婚に対してどう思うかを調査したところ、男性60%、女性65%が「離婚したくないが場合によっては仕方ない」と回答。一方で、男性30%、女性22%が「絶対に離婚したくない」と回答しており、男性が女性よりも8ポイント多い結果となりました。

### 結婚後の離婚に対してどう思う？



- 現代において離婚は当たり前である
- 離婚しても仕方ない
- 離婚したくないが場合によっては仕方ない
- 絶対に離婚したくない

n=1,482



#### ▼離婚しても仕方ないと回答した方の声

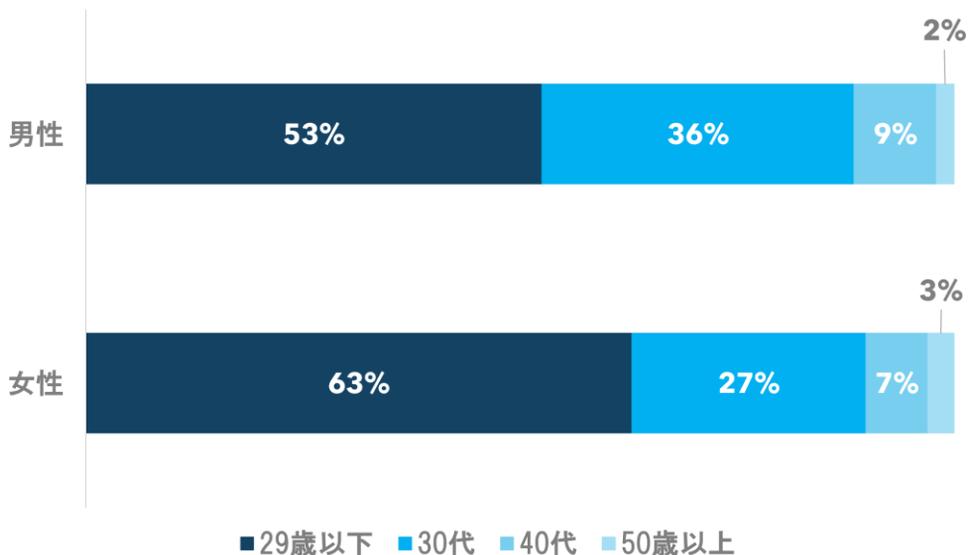
- ・お互いの行動によっても心が離れてしまうこともあると思うし、仕方がないことだと思う。(30代女性)
- ・2人でいてつらく、寂しい気持ちが続くなら、リセットは前向きにとらえて良いと思う。(40代女性)
- ・結婚とはお互いの身内や親族との関係性も関わってくるため、自分の意思に反して離婚せざるを得ない状況も発生してしまうから。(40代女性)

## 2. 婚活サービス利用について

### 2-1. 未婚女性の6割以上が婚活サービスの利用開始年齢「29歳以下」

婚活サービスの利用開始年齢を調査したところ、男性53%、女性63%が「29歳以下」と回答。女性が男性よりも10ポイント多く「29歳以下」と回答しており、女性は男性に比べて早めに婚活サービスを利用し始めていることが分かりました。

#### 婚活サービスをいつから利用し始めた？



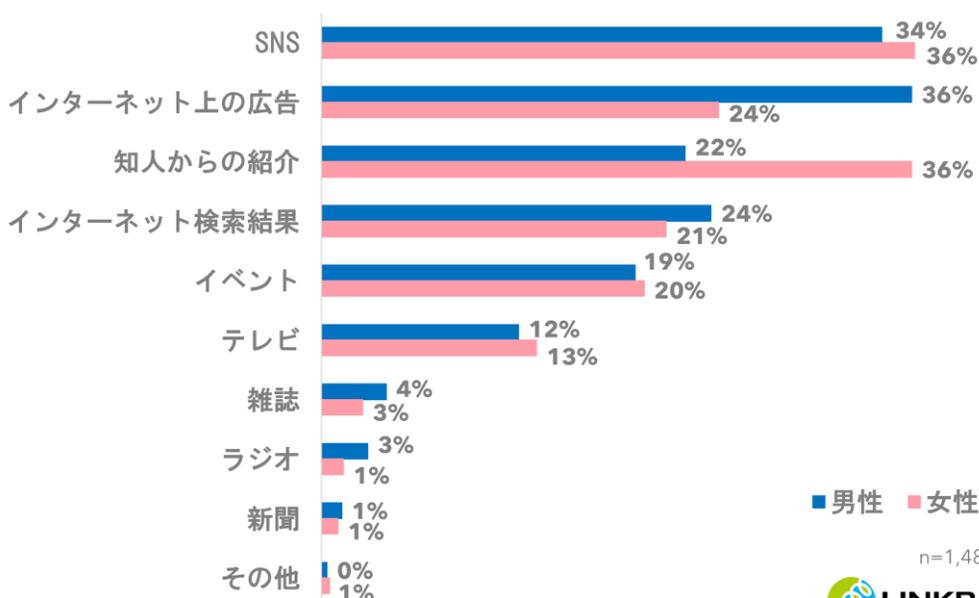
n=1,482



### 2-2. 未婚男女の4割弱が婚活サービスを知ったきっかけ「SNS」

婚活サービスを知ったきっかけを調査すると、男性は「インターネット上の広告」36%、「SNS」34%、「インターネット検索結果」24%という順位であるのに対し、女性は「SNS」「知人からの紹介」36%、「インターネット上の広告」24%と、男女で順位が違う結果となりました。

#### 婚活サービスを知ったきっかけは？（複数回答可）



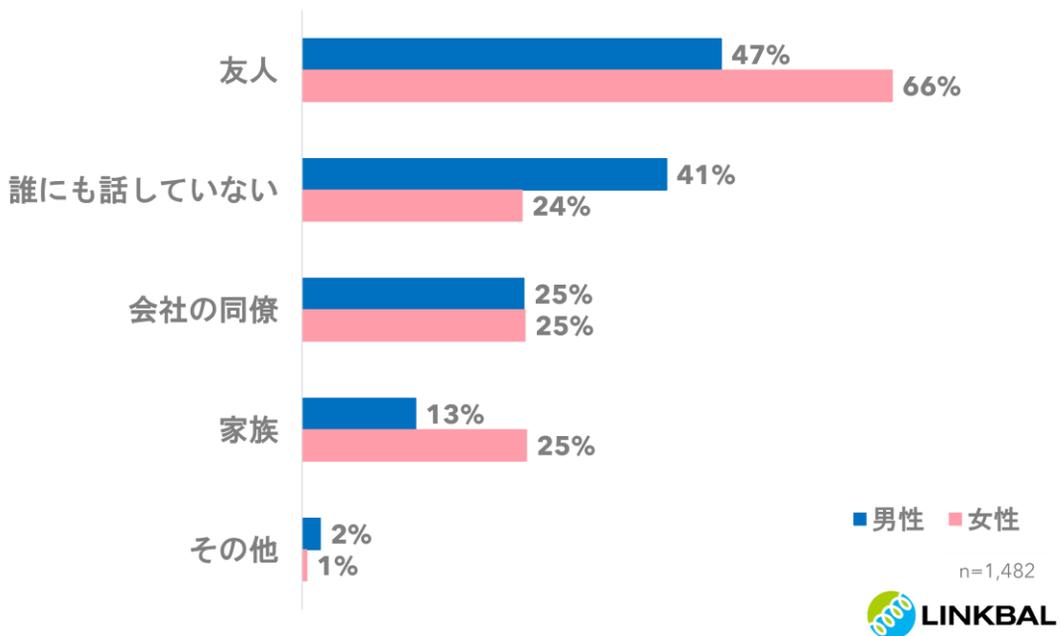
n=1,482



### 2-3. 未婚男女ともに婚活サービスの利用について「友人に話している」が1位

婚活サービスを利用していることを誰に話しているかを調査すると、男女ともに「友人」に話しているのが最も多い結果となりましたが、男性が47%と半数以下だったのに対し、女性は66%と19ポイントの差が出ています。また、男性は「誰にも話していない」が41%と女性よりも17ポイント多く、男性は女性に比べて婚活サービス利用について周囲に話さない傾向であることが分かります。

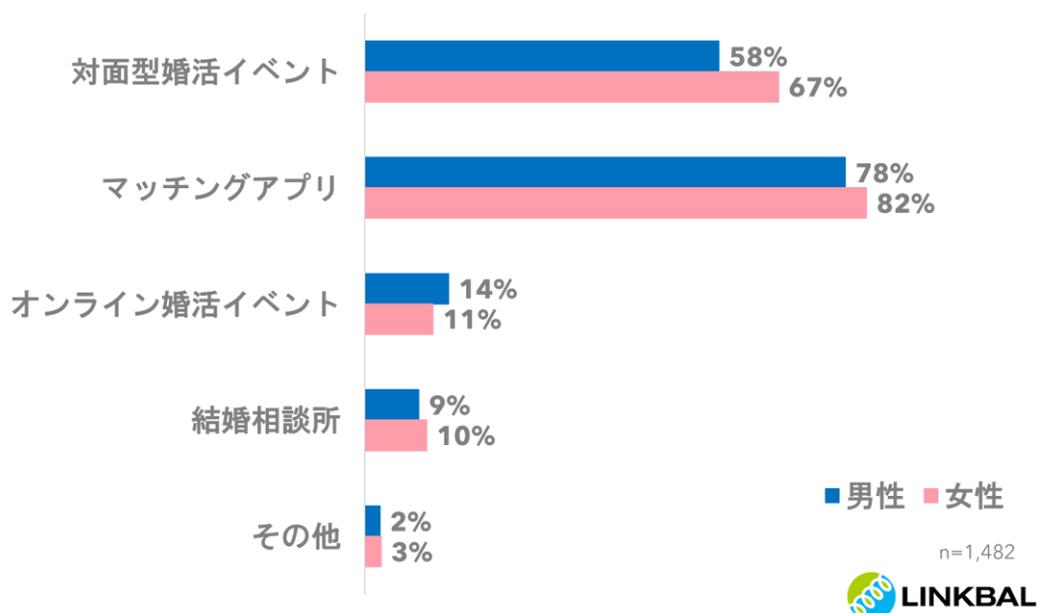
#### 婚活サービスの利用を誰に話している？（複数回答可）



### 2-4. これまで利用してきた婚活サービス「マッチングアプリ」が約8割で1位

利用経験のある婚活サービスを調査すると、男性78%、女性82%と男女ともに「マッチングアプリ」が最も多い結果となりました。次いで「対面型婚活イベント」が男性58%、女性67%、「オンライン婚活イベント」が男性14%、女性11%、「結婚相談所」が男性9%、女性10%と続いています。

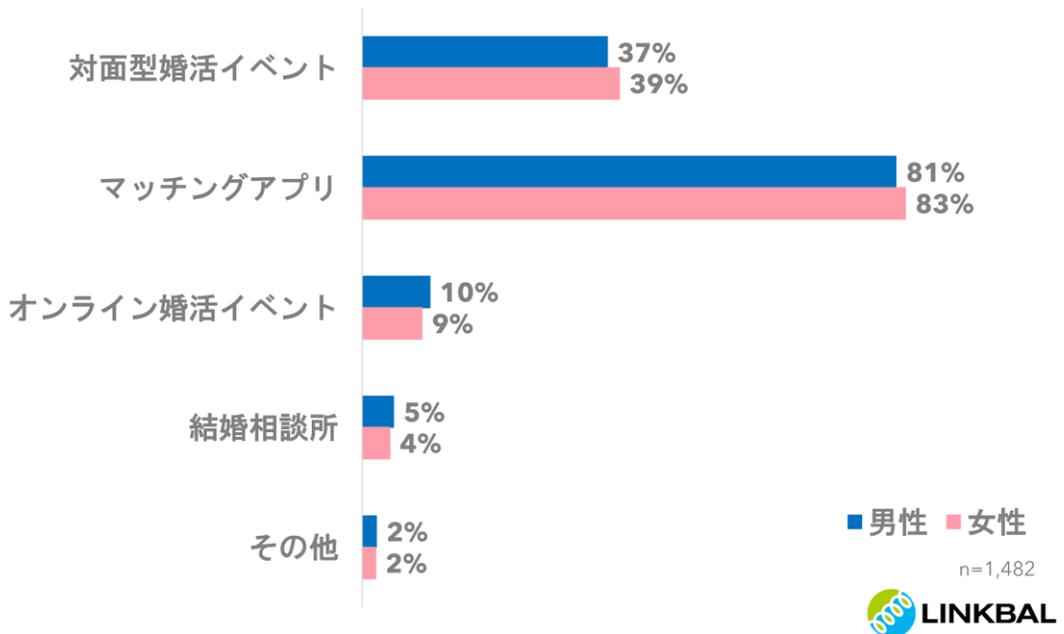
#### 利用経験のある婚活サービスは？（複数回答可）



## 2-5. 現在利用している婚活サービス「マッチングアプリ」が8割以上で1位

長引くコロナ禍で、現在どのような婚活サービスを利用しているか調査すると、男性81%、女性83%が「マッチングアプリ」で最も多い結果となりました。続く「対面型婚活イベント」とは2倍以上差が出ており、コロナ禍ではリアルで出会う婚活サービスの利用が少ないことが分かります。

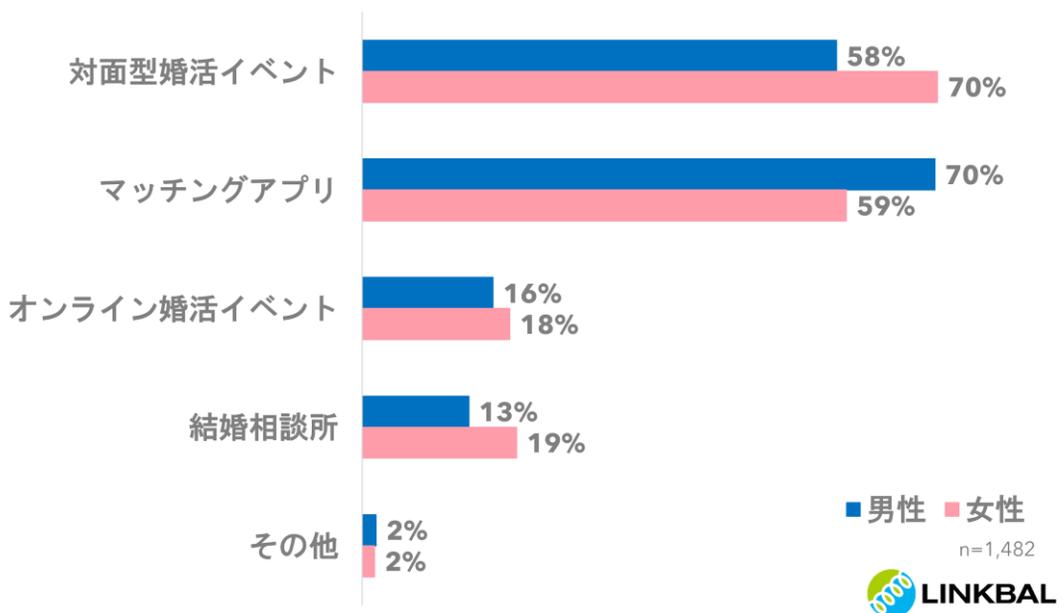
### 現在利用している婚活サービスは？（複数回答可）



## 2-6. 未婚女性の7割が今後利用したい婚活サービス「対面型婚活イベント」

今後利用したい婚活サービスについて調査すると、男性は「マッチングアプリ」70%、「対面型婚活イベント」58%、「オンライン婚活イベント」16%という順位になり、女性は「対面型婚活イベント」70%、「マッチングアプリ」59%、「結婚相談所」19%と、男女で順位が変わる結果となりました。

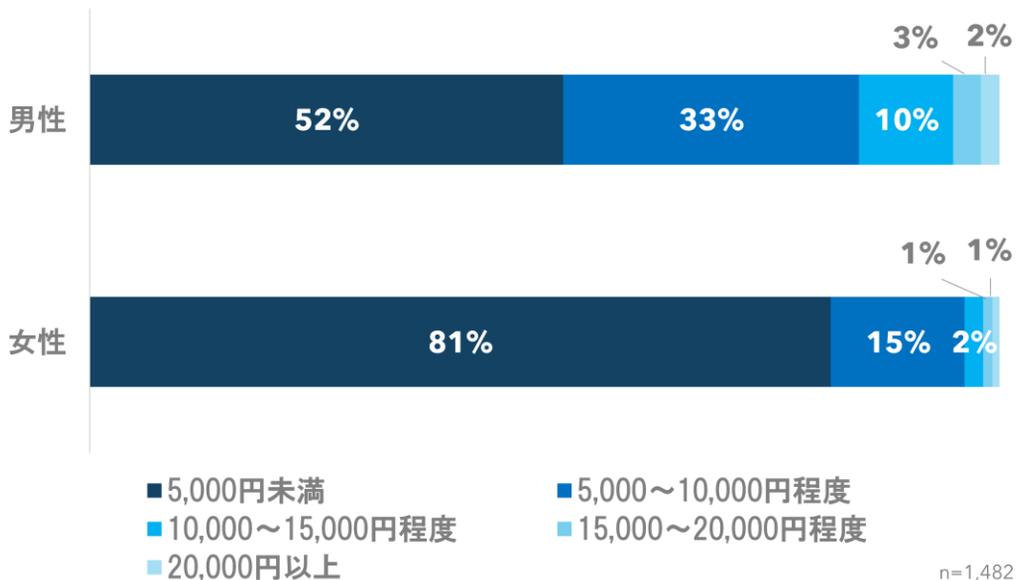
### 今後利用したい婚活サービスは？（複数回答可）



## 2-7. 婚活サービスに毎月かけられる費用「5,000円未満」男性半数以上、女性8割以上

婚活サービスに毎月かけられる費用について調査すると、男性52%、女性81%が「5,000円未満」と回答。男女で29ポイント差がつく結果となり、男性のほうが婚活に費用をかけていることがわかります。

### 婚活サービスにかけられる毎月の費用は？



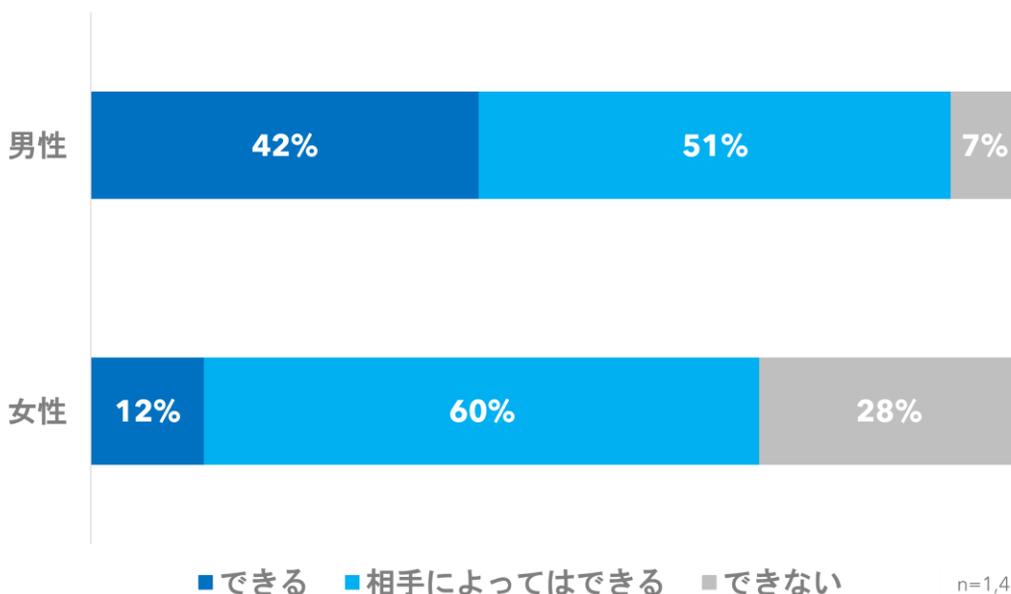
n=1,482



## 2-8. 婚活サービス利用中に「自分からアプローチできる」男性9割以上、女性7割以上

婚活サービス利用時に自分からアプローチできるかを調査すると、男性93%、女性72%が「できる」「相手によってはできる」と回答しており、男性が女性よりも21ポイント多い結果となりました。女性の7割以上が「自分からアプローチできる」と回答していることから、女性もアプローチしている人が多いことがわかります。

### 婚活サービスで自分からアプローチできる？



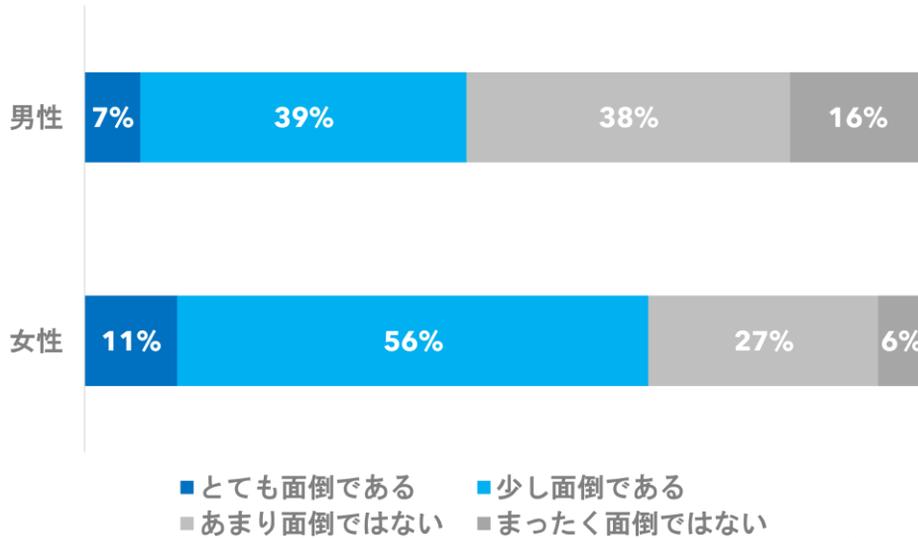
n=1,482



## 2-9. 未婚女性の7割弱が「婚活サービスでのコミュニケーションが面倒」と感じている

婚活サービス利用時に相手とのコミュニケーションを面倒に感じることを調査すると、男性46%、女性67%が「とても面倒である」「少し面倒である」と回答。女性は男性よりも21ポイント多く面倒だと感じており、男女でコミュニケーションに対する意識の違いがあることが分かります。

### 婚活サービスでのコミュニケーションで面倒に感じたことはある？



n=1,482

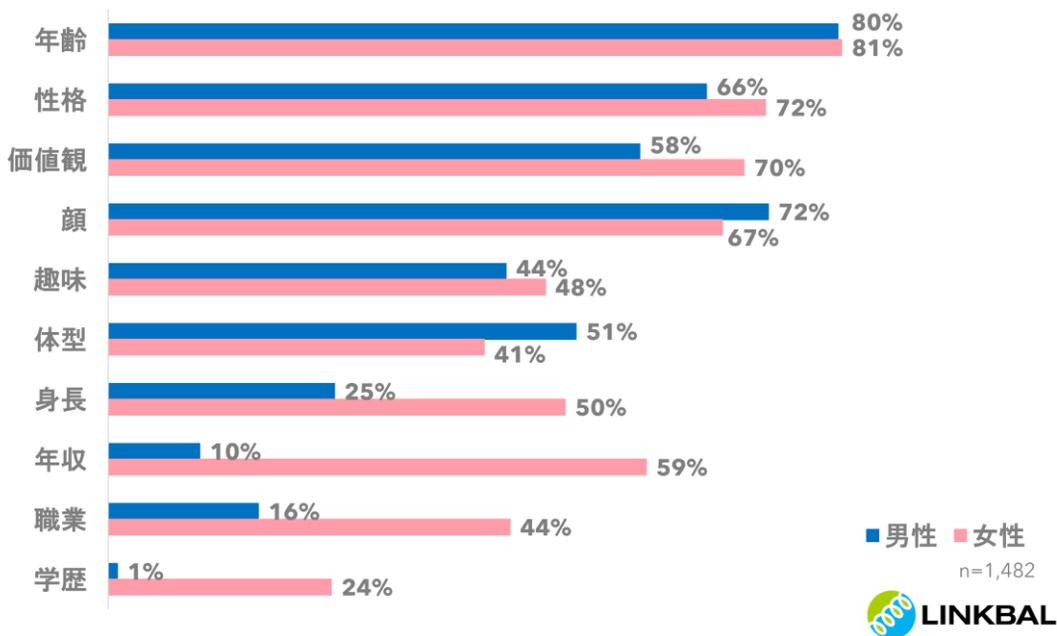


### 3. 相手の希望条件について

#### 3-1. 相手の重視するポイント「年齢」が8割以上で1位

相手の重視するポイントを調査すると、男性は「年齢」80%、「顔」72%、「性格」66%、女性は「年齢」81%、「性格」72%、「価値観」70%と回答。男女で重視するポイントの順位は異なりますが、近い結果となりました。「身長」や「年収」、「職業」は男女で大きな差が出ており、「身長」は25ポイント、「年収」は49ポイント、「職業」は28ポイント女性が男性に比べて多い結果となりました。

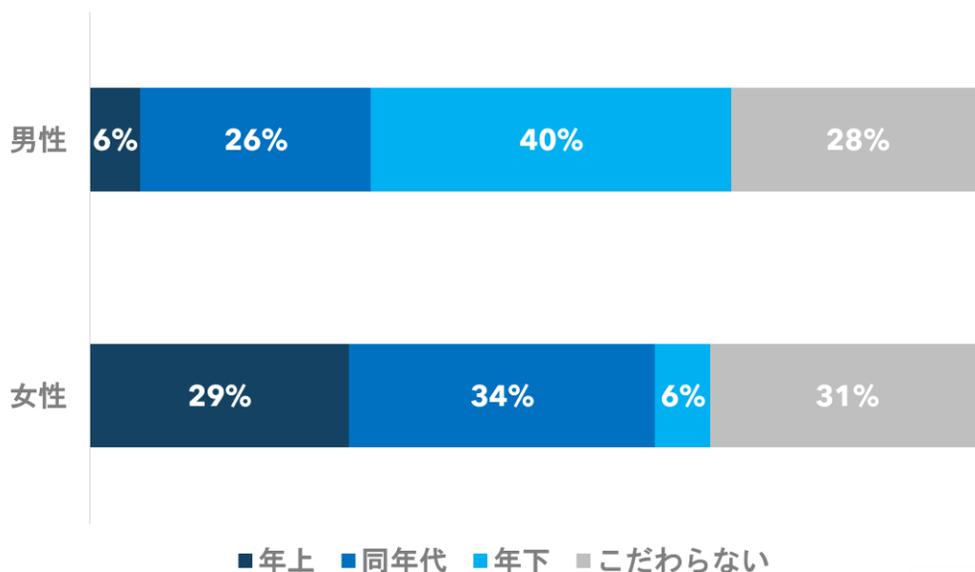
#### 相手の重視するポイントは？（複数回答可）



#### 3-2. 相手の理想の年代、男性「同年代以下」、女性「同年代以上」が6割以上

相手の理想の年代を調査すると、男性は「年下」40%、「こだわらない」28%、「同年代」26%、「年上」6%であったのに対し、女性は「同年代」34%、「こだわらない」31%、「年上」29%、「年下」6%と、男女で異なる回答結果となりました。総じて、男性は「同年代以下」、女性は「同年代以上」の方を好むことが分かります。

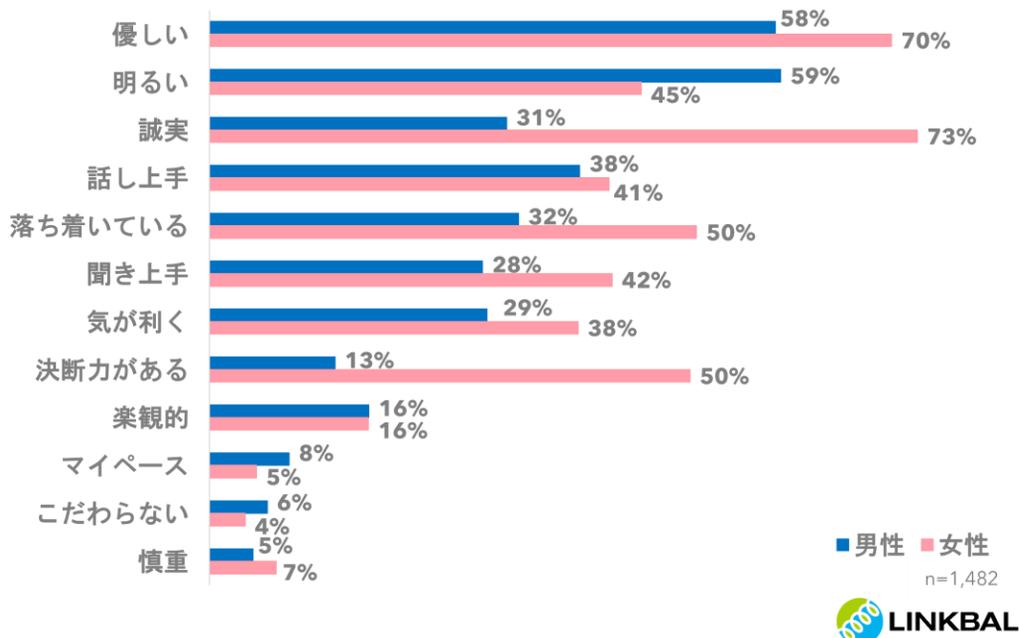
#### 相手の理想の年代は？



### 3-3. 相手に求める性格、男性「明るい」、女性「誠実」が1位

相手に求める性格を調査すると、男性は「明るい」59%、「優しい」58%、「話し上手」38%に対し、女性は「誠実」73%、「優しい」70%、「落ち着いた」「決断力がある」50%と、男女で異なる結果となりました。

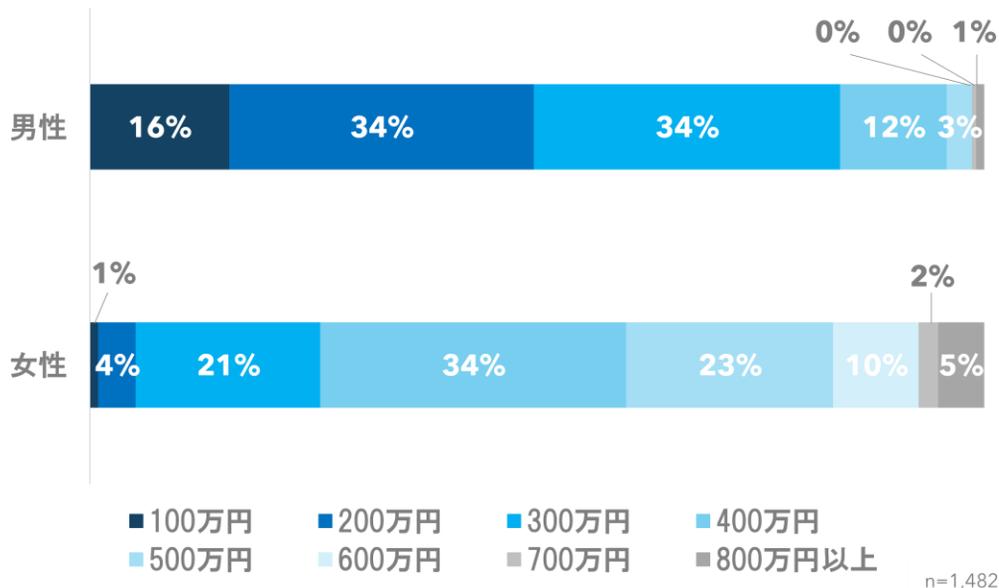
#### 相手に求める性格は？（複数回答可）



### 3-4. 相手に求める最低年収、男性「200万」「300万円」、女性「400万円」が1位

相手に求める最低年収を調査すると、男性は「200万円」「300万円」34%、「100万円」16%、女性は「400万円」34%、「500万円」23%、「300万円」21%という結果となり、女性は男性よりも相手に求める最低年収の希望が高いことが分かりました。

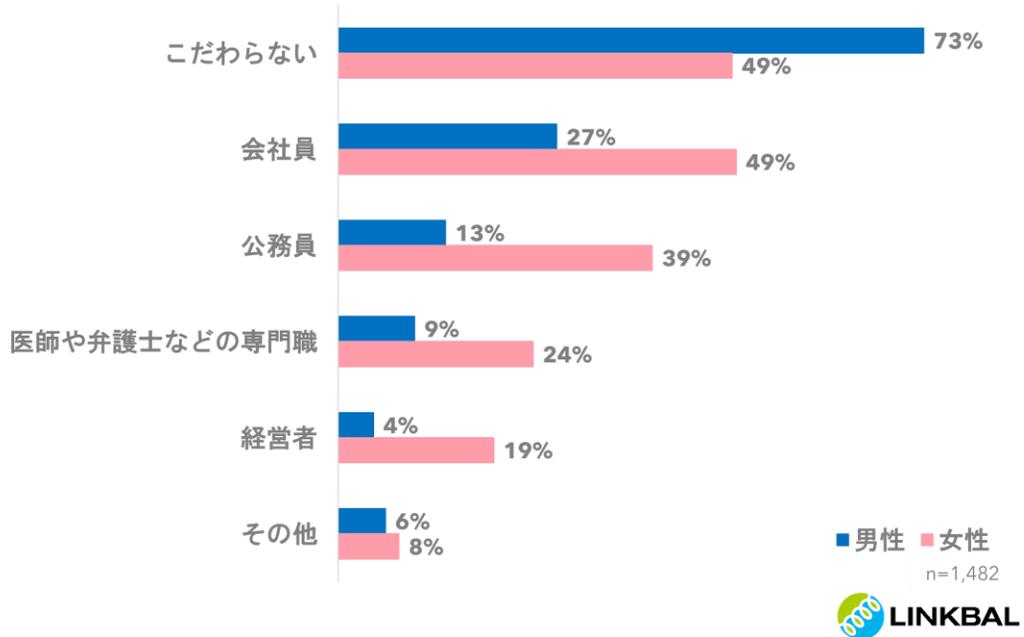
#### 相手に求める最低年収は？



### 3-5. 相手に求める職業、男性「こだわらない」、女性「会社員」「こだわらない」が1位

相手に求める職業について調査すると、男性は「こだわらない」73%、「会社員」27%、「公務員」13%、女性は「こだわらない」49%、「会社員」49%、「公務員」39%と、男女で比率は違うものの順位は同じ結果となりました。

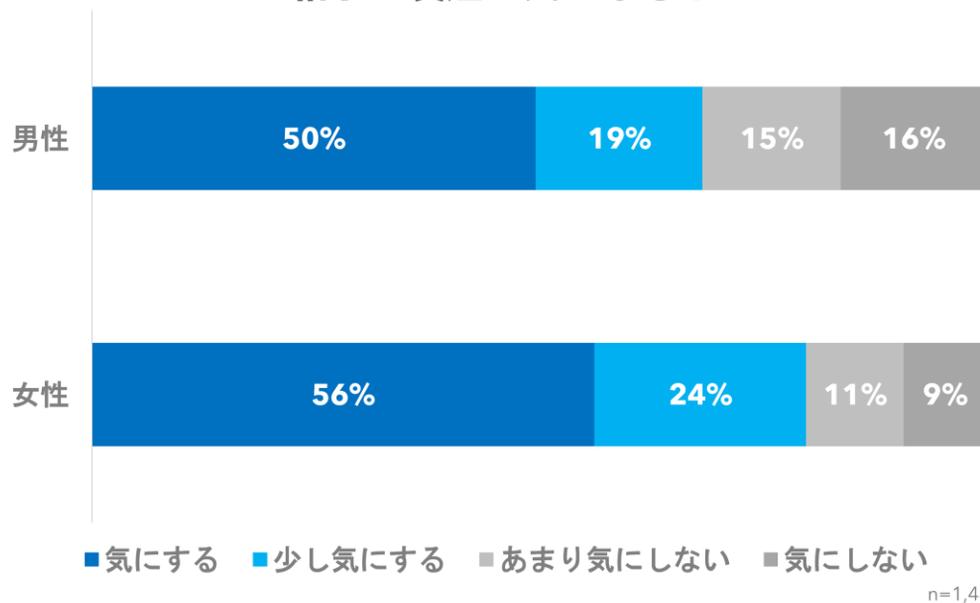
#### 相手に求める職業は？（複数回答可）



### 3-6. 未婚女性の8割が相手の喫煙「気になる」と感じている

相手の喫煙について調査すると、男性69%、女性80%が「気になる」「少し気になる」と回答。男女ともに相手の喫煙が気になる傾向にあり、特に女性は男性よりも11ポイント多い結果となりました。

#### 相手の喫煙は気になる？

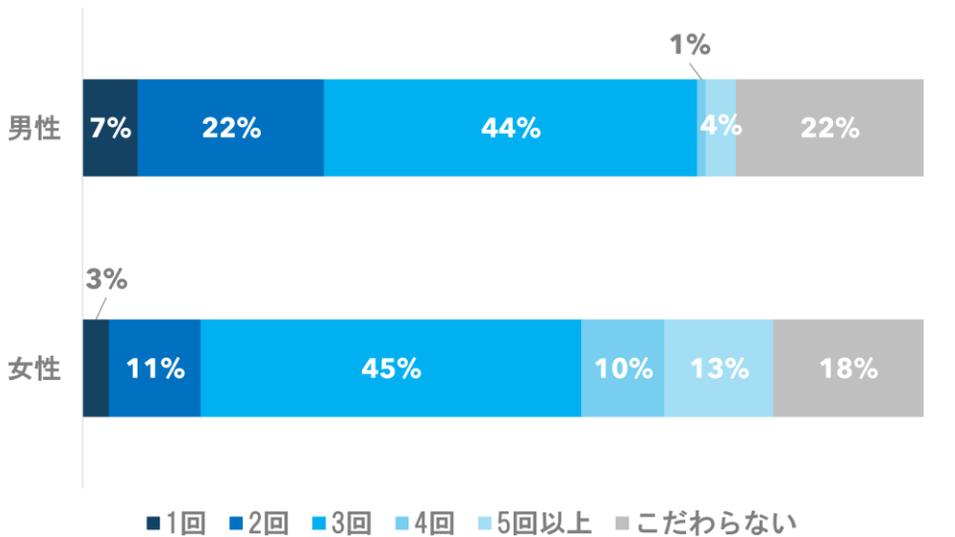


## 4. 交際・結婚後の希望について

### 4-1. 婚活サービスで知り合った相手と付き合うまでの希望デート回数「3回」が4割以上

婚活サービスで知り合った相手と付き合うまでの希望デート回数を調査すると、男性は「3回」44%、「2回」「こだわらない」22%、女性は「3回」45%、「こだわらない」18%、「5回以上」13%という結果となり、男女ともに3回デートを重ねた後に付き合いたいと思う方が多いことが分かります。

婚活サービスで知り合った相手と付き合うまでの希望デート回数は？



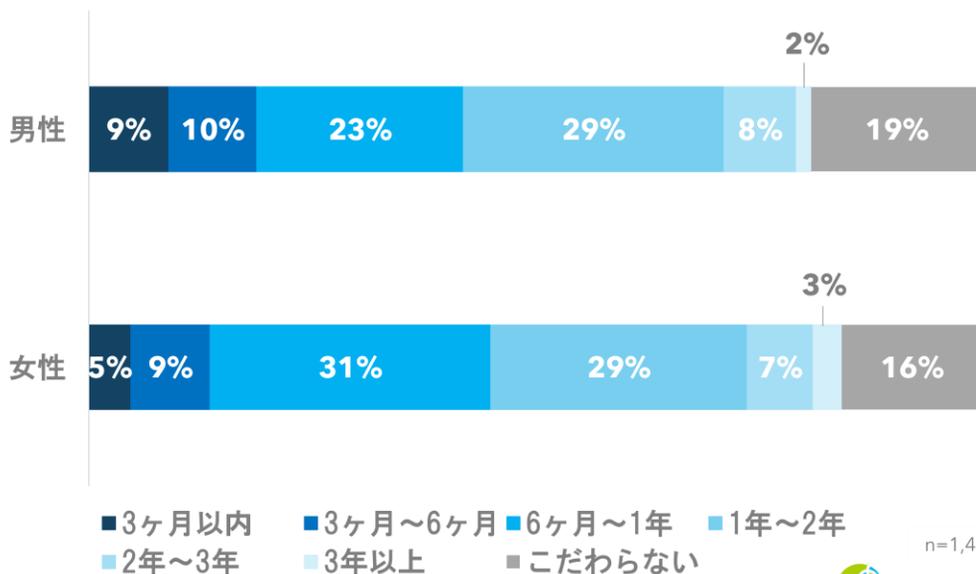
LINKBAL

n=1,482

### 4-2. 婚活サービスで付き合った相手と結婚するまでの理想の交際期間「1年以内」が4割以上

婚活サービスで付き合った相手と結婚するまでの理想の交際期間を調査すると、男性42%、女性45%が「3ヶ月」「3ヶ月～6ヶ月」「6ヶ月～1年」と回答し、交際期間1年以内で結婚したい未婚男女が4割以上いることが分かります。

婚活サービスで付き合った相手と結婚するまでの理想期間は？



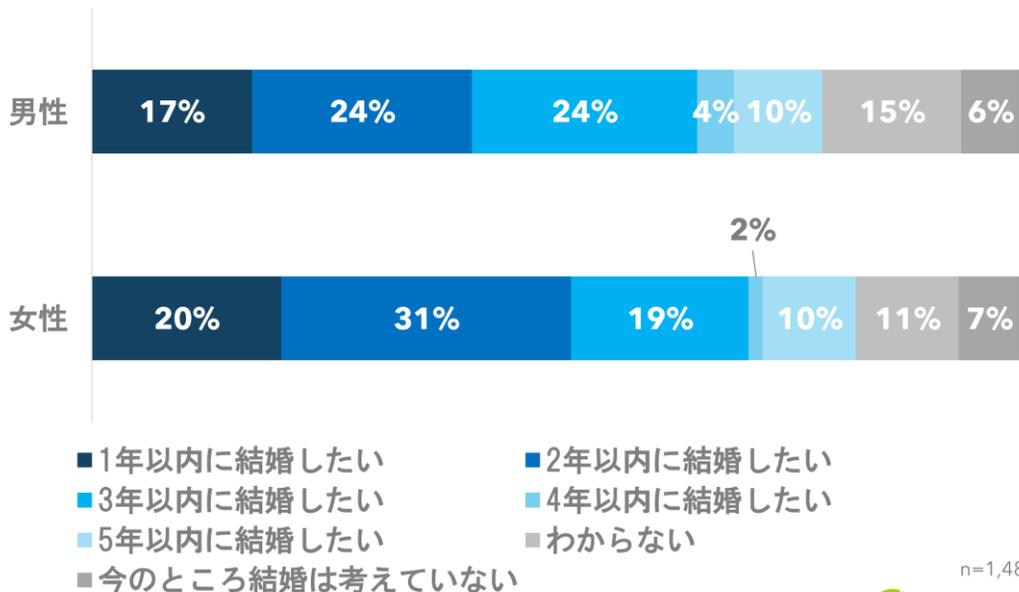
LINKBAL

n=1,482

#### 4-3. 未婚男女の約7割が「3年以内」の結婚を望んでいる

何年以内に結婚したいかを調査すると、男性は「2年以内」「3年以内」24%、「1年以内」17%、女性は「2年以内」31%、「1年以内」20%、「3年以内」19%と回答しており、男性65%、女性70%が3年以内の結婚を望んでいることが分かります。一方で、約2割が「分からない」「今は結婚を考えていない」と回答しており、およそ5人に1人の未婚者が必ずしも結婚を望んでいるわけではないことがうかがえます。

### 何年以内に結婚したい？

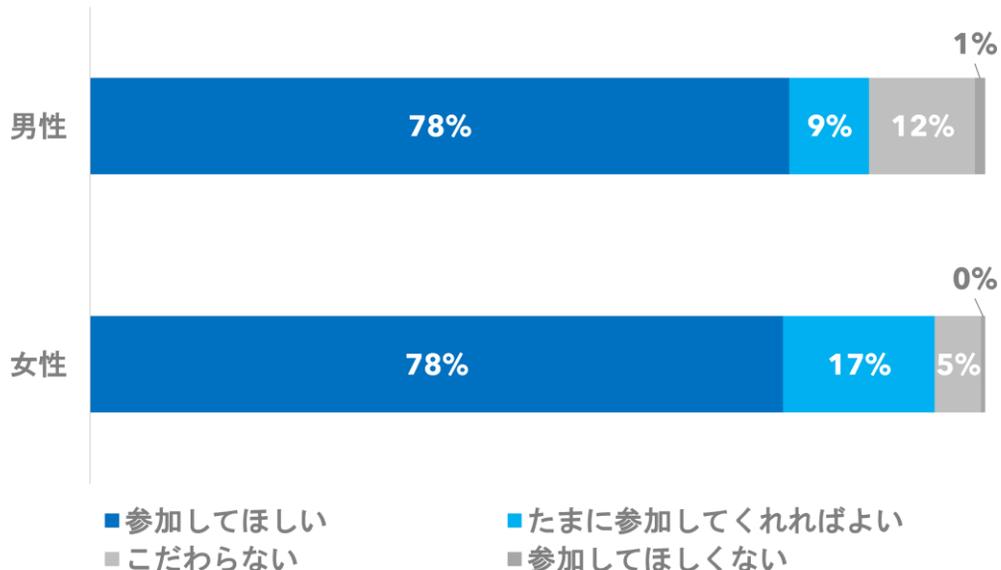


n=1,482  
LINKBAL

#### 4-4. 相手に「家事・育児に参加してほしい」が約9割

相手に家事・育児への参加をどれくらい求めるかを調査すると、男性87%、女性95%が「参加してほしい」「たまに参加してほしい」と回答しており、男女ともに家事・育児に参加してほしいと思っていることが分かります。

### 相手に求める家事・育児への参加度は？

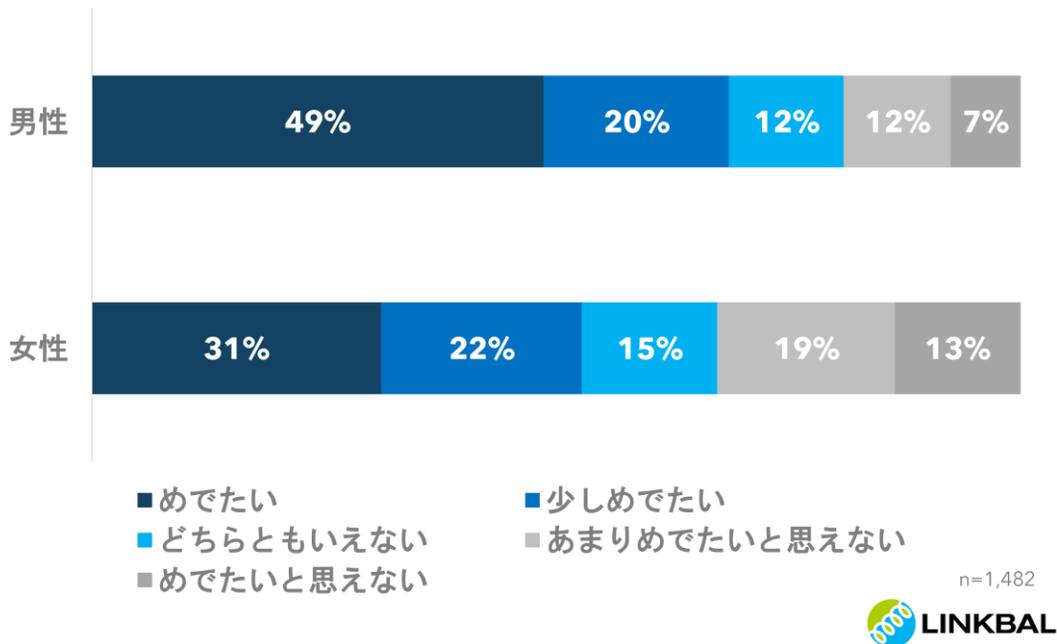


n=1,482  
LINKBAL

#### 4-5. 未婚男性の約7割が授かり婚に肯定的

授かり婚に対する意識調査をしたところ、男性69%、女性53%が「めでたい」「少しめでたい」と授かり婚に肯定的であり、男性が女性を16ポイント上回る結果となりました。

### ご自身が授かり婚になったらどう思う？



#### ▼授かり婚にめでたいと回答した方の声

- ・今のご時世珍しいことじゃないし、年齢も年齢なので。(20代女性)
- ・素直に嬉しいから。(30代女性)
- ・もしそうならば自分の子供を作ってくれた女性に感謝しかない。(40代男性)
- ・子供ができることは、どんな状況下であってもめでたいと感じたため。(30代男性)

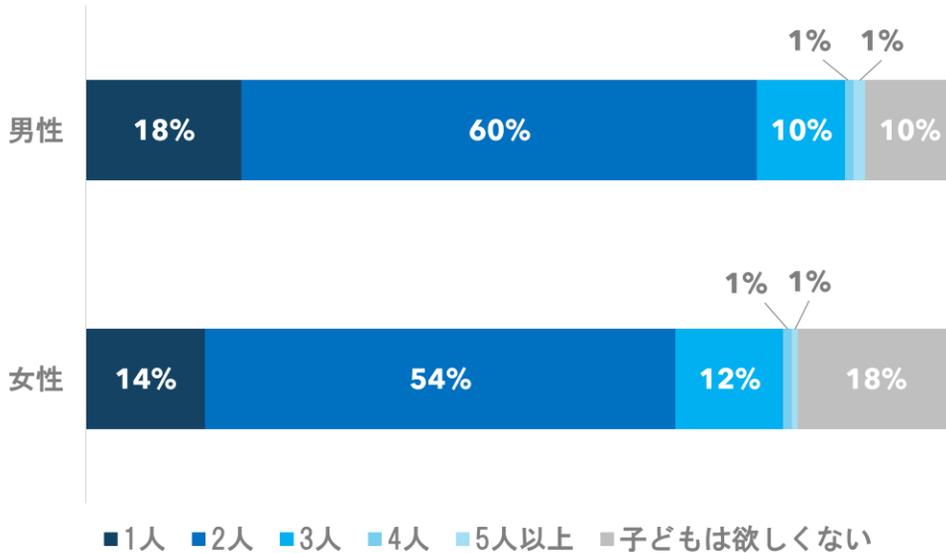
#### ▼授かり婚にめでたくないと回答した方の声

- ・順番を経て、結婚、子供という順番がいい。出産から結婚だと忙しくなりそうだから。(20代女性)
- ・周りがどう思うかを気にしてしまう。(30代女性)
- ・結婚してから子どもを授かるのが順番だと思うから。(20代男性)
- ・しっかりと婚姻契約をしてから子供が欲しい。責任感を持ちたいから。(30代男性)

#### 4-6. 将来の子供「2人欲しい」が男性6割、女性半数以上

将来子供が何人欲しいかを調査すると、男性60%、女性54%が「2人」欲しいと回答。一方で、男性10%、女性18%が「子供は欲しくない」と回答しており、女性が男性に比べて8ポイント多い結果となり、「年齢的に子供を産むことが難しい」といった女性の意見が多くあげられました。

### 将来子どもは何人欲しい？



n=1,482



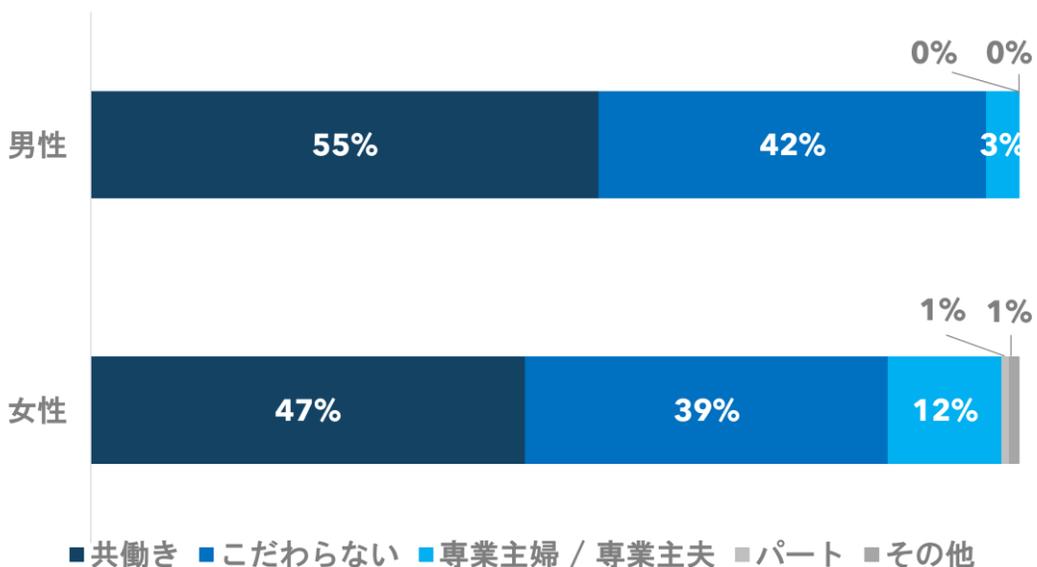
#### ▼子供は欲しくないと回答した方の声

- ・欲しくないと言うより、年齢的に難しいと思ったため。(40代男性)
- ・相手と相談して決める事だと思うので一方的に望んでいない。(40代男性)
- ・相手の経済力による。経済的に育てられそうなら考えるが、現状自分の収入では無理なため。(20代女性)
- ・年齢的に出産は無理。相手の方にお子さんがおられれば、考えてみるのもありだと思う。(40代女性)

#### 4-7. 結婚後の理想の働き方、およそ2人に1人が「共働き」を希望

結婚後の理想の働き方について調査すると、男性55%、女性47%が「共働き」と回答しており、およそ2人に1人の未婚男女が結婚後は共働きを希望していることがわかります。次いで「こだわらない」が男性42%、女性39%となりました。

### 結婚後の理想の働き方は？



n=1,482



## ■ 調査結果からの考察

コロナ禍をきっかけにパートナーの重要性を感じて「結婚願望が出た」人もおり、未婚男女の8割以上が結婚願望がある状態です。その一方で、未婚男女の約8割が「婚活サービス以外での出会いがない」と回答しており、日常生活の中では新たな出会いがないことが分かります。また、回答者の声からコロナ禍で自由に外出できないことも出会いがないことに影響していることが分かります。そのため現在利用している婚活サービスは、男女ともに「マッチングアプリ」が最も多い結果となり、長引くコロナ禍ではオンラインで新たな出会いを求める方が多いことが分かりました。今後利用したい婚活サービスは、男性「マッチングアプリ」に対して、女性「対面型婚活イベント」が最も多く、リアルでの出会いを求める女性が多いことが分かりました。また、およそ5人に1人の女性が「結婚相談所」の利用を希望しています。マッチングアプリでの出会いの促進はもちろん、安心・安全に出会えるよう、感染症対策を万全に整えた出会いの場所や、結婚を意識している方への最適な結婚相談所の提供が求められていると考えます。

今回の調査では、多様化する結婚スタイルについても言及しました。その結果、事実婚や夫婦別姓といった新たな結婚スタイルについて、およそ2人に1人の未婚男女が肯定的な考えであることが分かりました。これは、コロナ禍で人々の生活様式が大きく変化したことにより、これまでの常識や形式にこだわらない考えを持つ人が増えたことも影響していると考察しております。ニューノーマルな時代においては、自身にとって最適なパートナーシップを築くことが重要と考える人が増え続ける可能性があるのではないかと考えます。

## ■ 調査結果を通じて

婚活サービスを利用している未婚男女を対象に「婚活・結婚意識調査」を実施したことにより、長引くコロナ禍でどのように婚活をしているのか、結婚に対してどのように考えているのかなど、未婚男女の実態を知ることができました。

リンクバルは、イベントECサイト「machicon JAPAN」やマッチングアプリ「CoupLink」を通して、新たな出会いの場の提供やマッチングを促進しております。2020年からは、オンライン結婚相談所「マリッジスタイル」を通して、専属コンシェルジュが出会いから成婚までを一貫してサポートし、未婚者に対する婚活支援を強化しております。その他にも、恋人の仲を深めるカップル専用アプリ「Pairy」や、マタニティユーザーを対象にした結婚式場紹介サービス「ママ婚」を運営し、結婚前後のサポートも行っております。

今回の調査結果をもとに、それぞれのサービス向上に努め、よりお客様が求める出会いの場を提供するだけでなく、出会いから結婚前後のサポートを強化し、日本の深刻な社会問題である未婚化の解消に寄与してまいります。